

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)



2021年3月期第3四半期 決算説明資料

2021年2月5日



Bluetooth®内蔵
上腕式ホースレス血圧計
UA-1200BLE

はじめに



2020年8月6日に開示いたしました2021年3月期業績予想につきまして、2020年11月6日に修正を公表いたしました。昨今の事業動向を踏まえ、2021年2月5日付「2021年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」により再度修正させていただきました。従って本資料につきましても、再度修正の予想に基づき説明させていただきます。

なお中期経営計画（ローリング方式）につきましては引き続き公表を見合とさせていただき、中期的な見通しが可能になった段階で公表させていただく予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響



新型コロナウイルス感染症拡大による生産面・販売面の状況

生産面：中国・ベトナム・韓国・国内の各生産拠点は平常時レベルに回復

- サプライチェーンは正常に機能、ただし輸出入における輸送手段（船・air）の確保が課題

販売面：健康意識の高まりから家庭向け健康機器が引続き好調に推移

- 販売活動は活動規制等により依然として苦戦を強いられているが、米州・欧州ではeコマースルートでの家庭向け血圧計が好調を維持、日本では非接触体温計が特需となる

引続き健康と安全を最優先に予防策を実施しつつ企業活動に努めています

- テレワーク・時差通勤・食堂の時差使用等の対策を継続
- Web商談・Web会議・設置のリモート対応・Webinar等々Webの機能を積極的かつ最大限に活用

- 1. 2021年3月期修正業績予想**
- 2. 2021年3月期第3四半期業績の総括**
- 3. 2021年3月期重点課題**

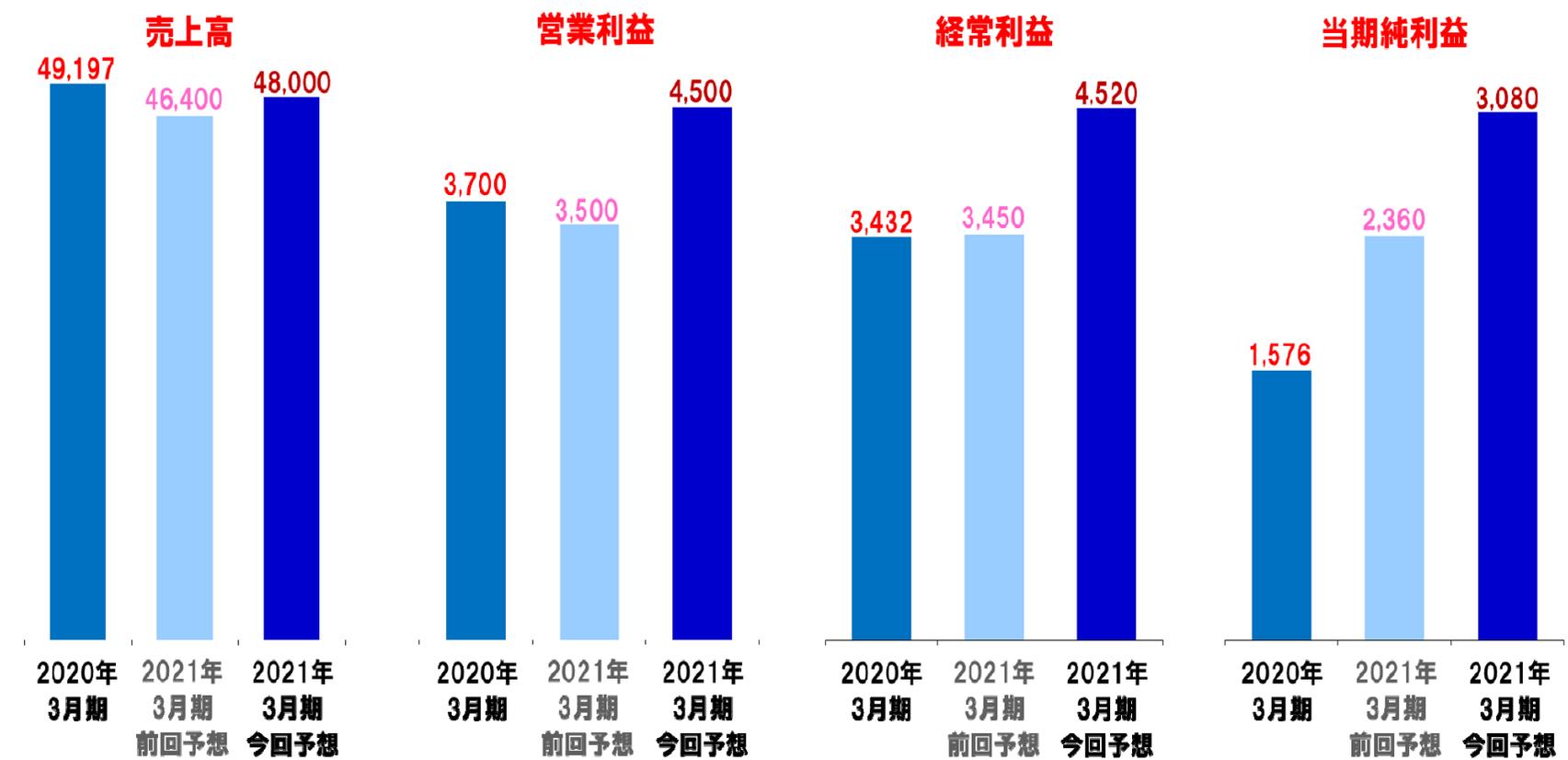
1. 2021年3月期修正業績予想

2021年3月期修正業績予想 ①



- 健康機器の需要増を背景に売上高は前年度並みに回復、前回修正予想を更に上回るものと予想
- コスト削減・販管費圧縮に向けた施策・活動により各段階利益は前回予想を大幅に上回るものと予想

(単位：百万円)



2021年3月期修正業績予想 ②



(単位：百万円)

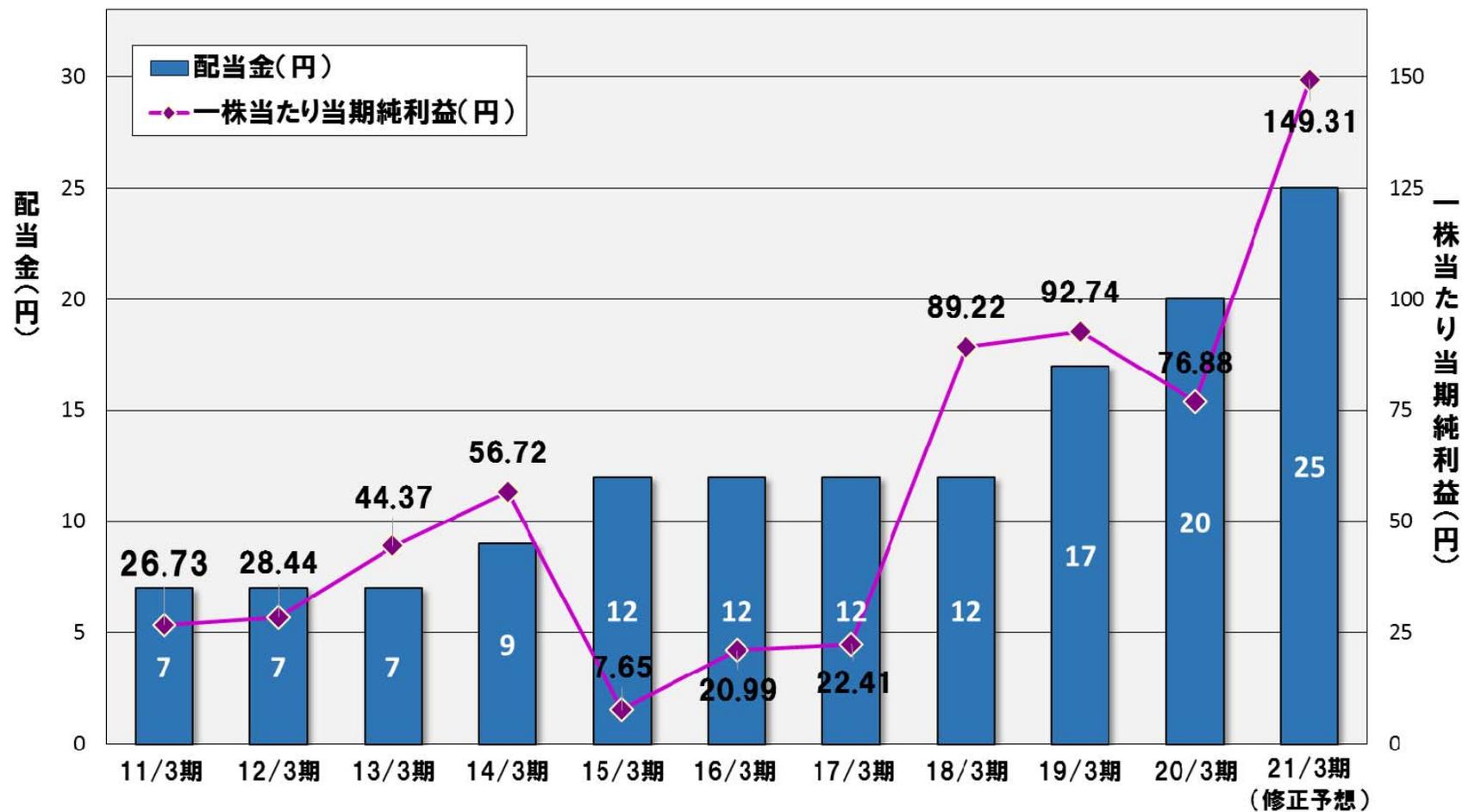
連 結 損 益	前回発表予想	今回発表予想	増減率	(参 考)	
				前期実績	前期実績比
売 上 高	46,400	48,000	3.4%	49,197	97.6%
売 上 原 価	25,900	26,466	2.2%	27,411	96.6%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,000	17,034	0.2%	18,085	94.2%
営 業 利 益	3,500	4,500	28.6%	3,700	121.6%
経 常 利 益	3,450	4,520	31.0%	3,432	131.7%
税 引 き 前 利 益	3,450	4,520	31.0%	3,423	132.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,360	3,080	30.5%	1,576	195.4%
1株あたり当期 純利益(円)	114.41	149.31	30.5%	76.88	194.2%

想定為替レート：1ドル=105円 1ルーブル=1.4円

株主還元



2021年3月期修正予想に鑑み年間配当は5円増配の25円を予想



1. 2021年3月期第3四半期業績の総括

2021年3月期第3四半期業績ハイライト



売上高は前年並みへ回復、営業利益は対前年大幅増

売上高：前年同期比 99.7%

営業利益：前年同期比 157.6%

■要因

- **計測・計量機器事業：製造業の稼働状況回復により業績も回復基調**
- **医療・健康機器事業：家庭向け健康機器が引続き好調を維持**
- **原価改善・販管費削減活動により売上原価・販管費とも減少率は売上高の減少率を上回る**

2021年3月期第3四半期業績の概況



売上高は前年並へ回復、原価・販管費削減で各段階利益は大幅増

(単位：百万円)

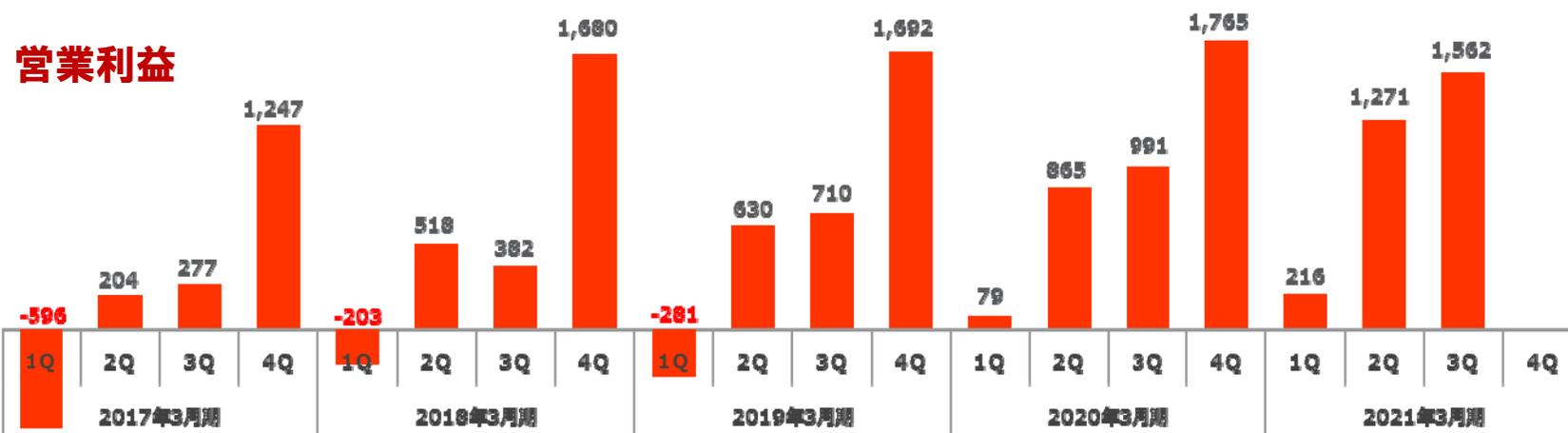
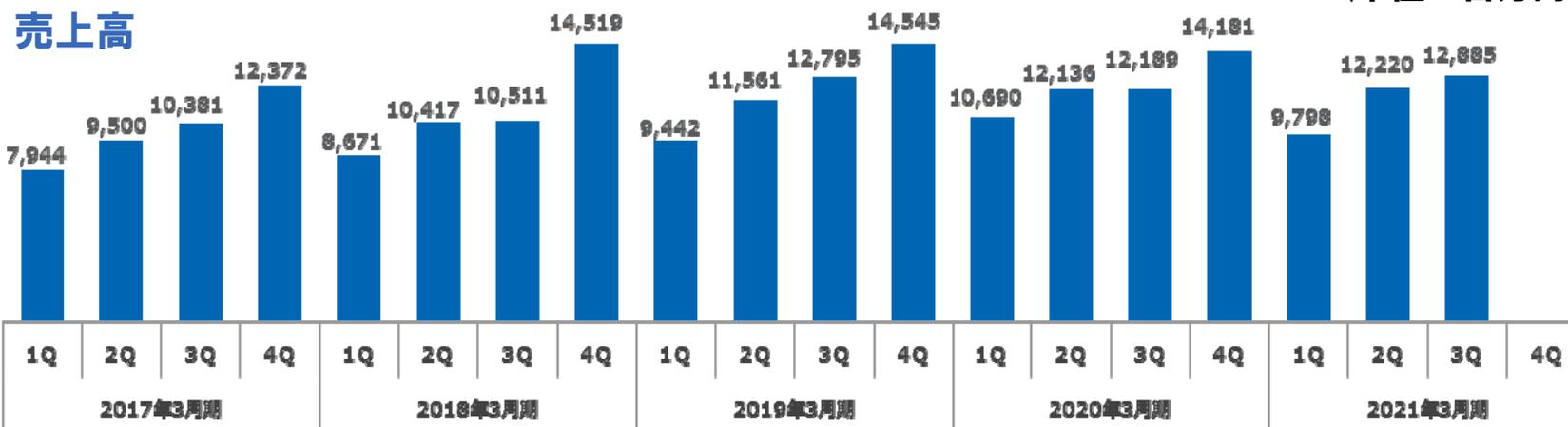
連 結 損 益	2020/3期 3Q累計(実績)	2021/3期 3Q累計(実績)	前年同期比	2021/3期 修正後予想	達成率 (修正後予想比)
売 上 高	35,016	34,904	99.7%	48,000	72.7%
売 上 原 価	19,557	19,202	98.2%	26,466	72.6%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,523	12,651	93.5%	17,034	74.3%
営 業 利 益	1,935	3,050	157.6%	4,500	67.8%
経 常 利 益	1,824	3,117	170.8%	4,520	69.0%
税 引 き 前 利 益	1,809	3,115	172.2%	4,520	68.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	440	2,220	503.9%	3,080	72.1%
1株あたり四半期 純利益(円)	21.51	107.64	503.9%	149.31	72.1%

四半期別売上高および営業利益の推移



2Q同様3Qも単独では増収増益、売上高も対前年微増

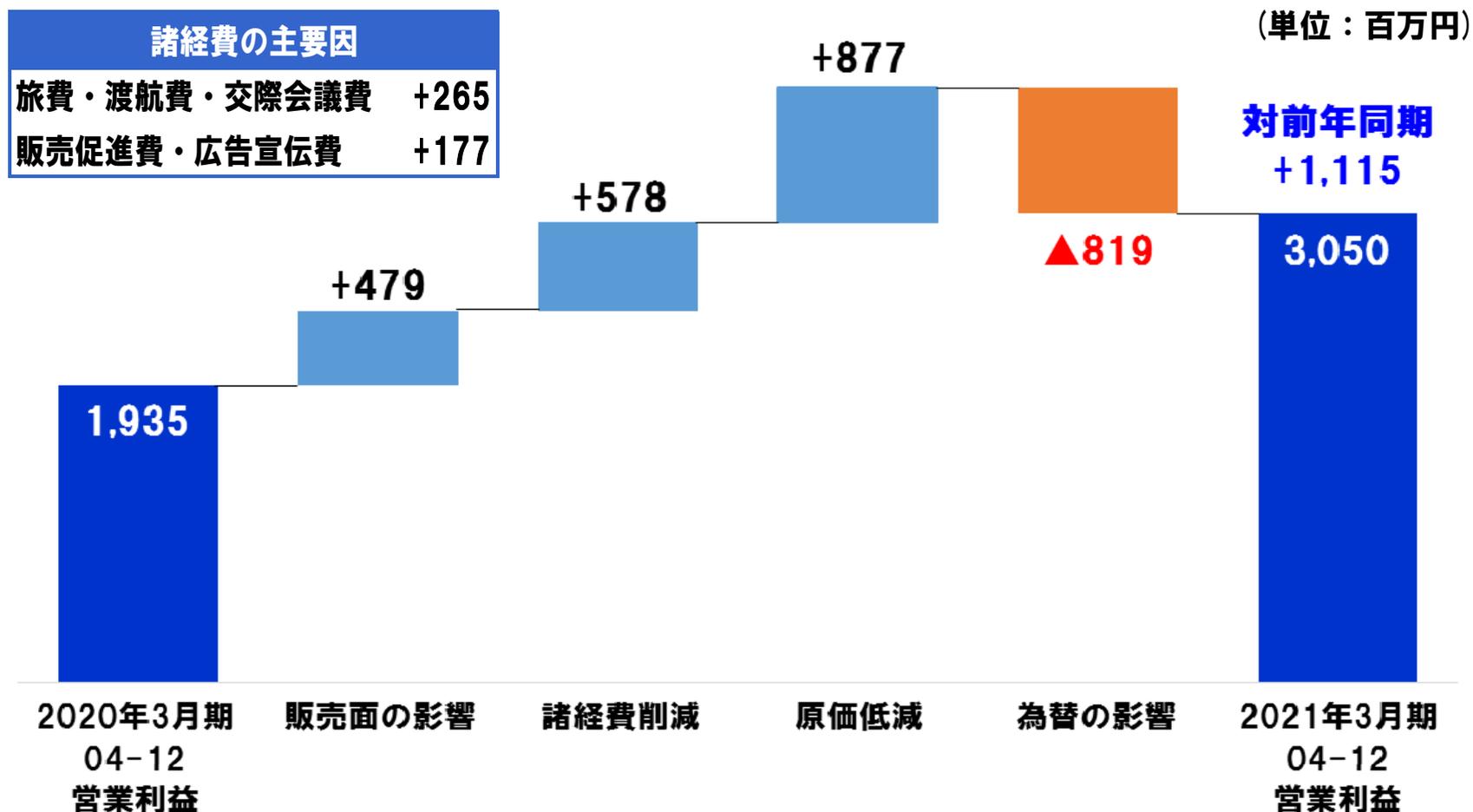
(単位：百万円)



営業利益増減要因（前年同期比）



原価低減および販管費削減により営業利益は増加

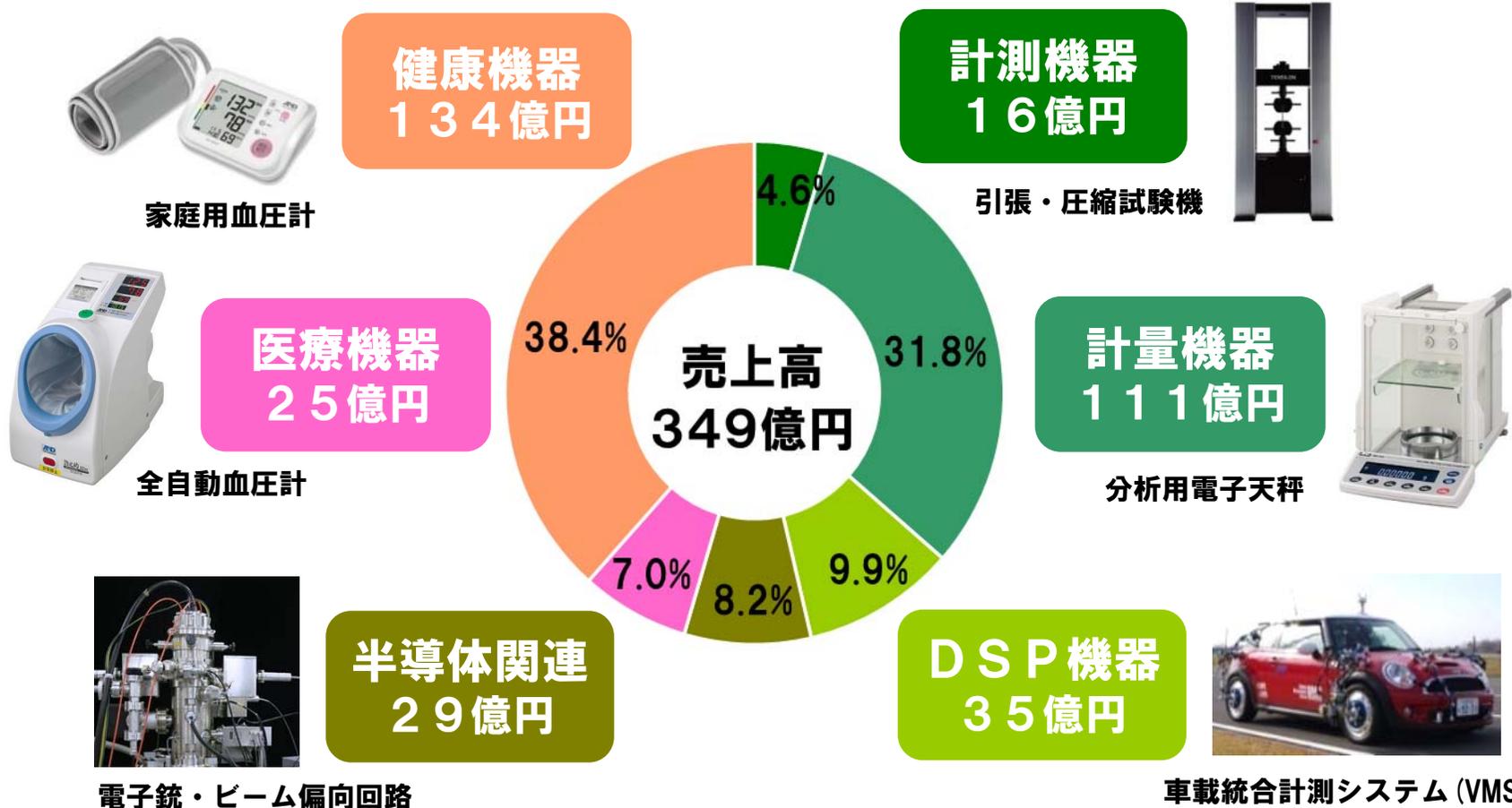


2021年3月期第3四半期事業別売上実績



医療・健康機器事業

計測・計量機器事業



※DSP：計測・制御・シミュレーションシステム

セグメント別業績の概要



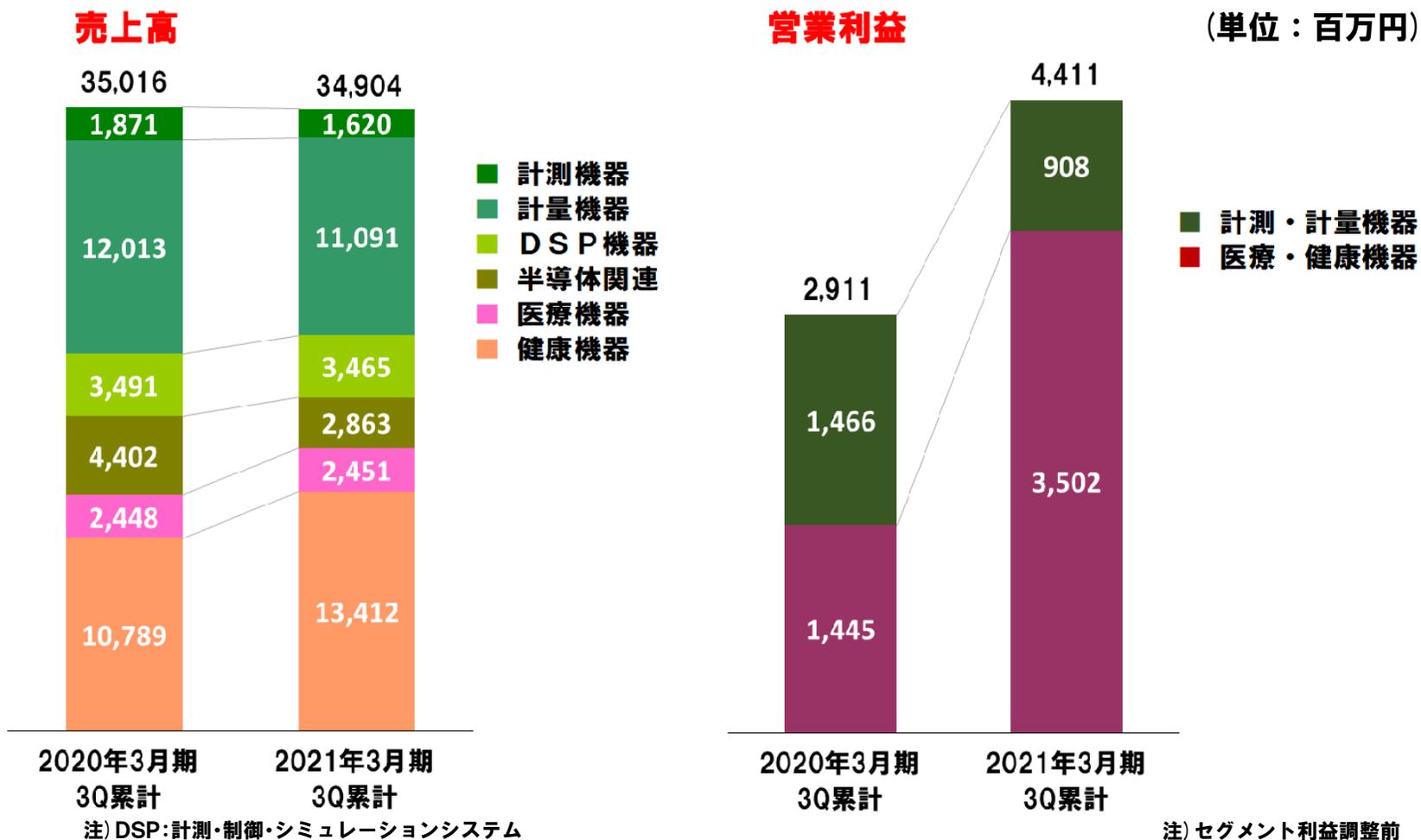
(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 3Q累計(実績)	2021/3期 3Q累計(実績)	前年同期比	2021/3期 修正予想	達成率 (対修正予想)
売 上 高	35,016	34,904	99.7%	48,000	72.7%
計測・計量機器	21,779	19,040	87.4%	26,270	72.5%
医療・健康機器	13,237	15,863	119.8%	21,300	74.5%
売 上 原 価	19,557	19,202	98.2%	26,466	72.6%
計測・計量機器	12,392	10,657	86.0%	14,987	71.1%
医療・健康機器	7,244	8,266	114.1%	11,201	73.8%
販 管 費	13,523	12,651	93.5%	17,034	74.3%
計測・計量機器	7,919	7,473	94.4%	9,973	74.9%
医療・健康機器	4,547	4,094	90.0%	5,589	73.3%
営 業 利 益	1,935	3,050	157.6%	4,500	67.8%
計測・計量機器	1,466	908	62.0%	1,740	52.2%
医療・健康機器	1,445	3,502	242.3%	4,510	77.7%
全 社 / 消 去	△ 976	△ 1,361	----	△ 1,750	----

事業別実績



医療・健康機器事業は好調維持、営業利益の対前年比大幅増を牽引



事業別動向



計測・計量機器	計測機器	アジア・オセアニアでは活動制限の緩和と共に需要動向は回復基調、豪州では計量器全般の売上増加
	計量機器	日本・米州で未だ回復の兆しが見えず需要は低調に推移 結果対前年同期未達に終わる
	DSP機器	受注活動が依然制約を受ける状況下、受注は低調な推移となったが、前期末受注残は延期等無く順調に売上となり、結果ほぼ前年並みの実績で着地
	半導体関連	半導体メーカーの検査装置への設備投資は前年度で一巡か 実績は対前年割れもほぼ計画どおり
医療・健康機器	医療機器	医療機関等の逼迫した状況から苦戦を強いられていたが、補正予算の執行もあり実績はほぼ前期並みとなる
	健康機器	日本・米州・欧州で健康機器が好調維持 日本では非接触型体温計、米州では遠隔医療需要から通信機能付き機器の需要が増加、欧州ではeコマースルートの伸長継続

2. 2021年3月期重点課題

アフターコロナに向けて



社会的価値観と産業構造の変化を好機と捉え経営体質を強化



最大効率を引出す仕組み創りのための業務の見直し

DXの推進による効率改善と収益力強化

事業環境の変化を掴み更なる成長へ挑戦

アフターコロナに向けて



**コロナ後、社会は変化が加速 ⇒ ビジネスのチャンスは増加
主要事業で想定される変化と創出されるビジネスチャンス**

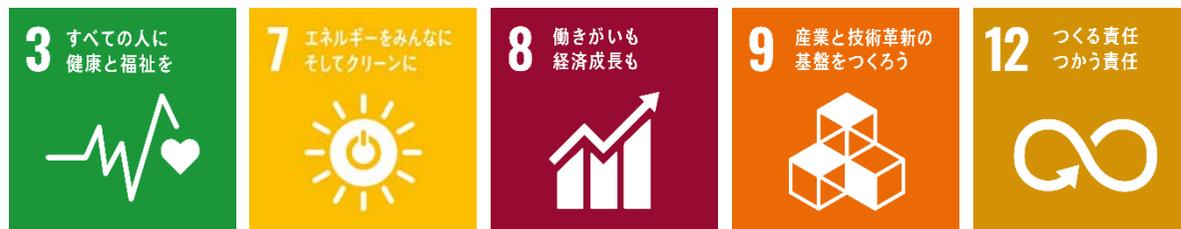
- **メディカル事業**
健康意識の高まりから家庭向け健康機器の需要増
ICT・クラウドと連携する健康サービス市場も加速
遠隔医療・リモート診療の認可が新市場を創出
→ICT対応の血圧計・体重計・体温計・SpO2計
体組成計販売のグローバル化
- **半導体関連事業**
リモートワーク・Web会議等は通信環境の高度化を要求
5G普及とAI・IoT対応に伴う大容量メモリと半導体微細化要求
→半導体検査装置のマスク測長機
- **自動車関連ツール (DSP) 事業**
ゼロエミッション社会へ向けEV化は加速
→モーターHILS・バッテリーHILS対応の促進とSILSへの参入

中長期での価値創出（サステナビリティ）へ向けて

「組織の存続・成長」と「ステークホルダーの重要視点」
2つの側面から解決すべき社会課題の特定を推進中

- 当社が生かすアセット：
アナログとデジタルの変換技術を原点に計測・制御技術を駆使したツールの提供による新しい価値の創出支援
産業の発展と健康な生活に貢献
- 事業を通じて当社が解決する課題：
健康経営の実践、エネルギー/環境問題

➤ 関連するSDGs



AND
Discover Precision

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。